

(二十丁ウ、二十一丁オ)

- ① 庭前ていぜんに馬舞むまふふと見れば、火のたゝりあり、つゝしむべし、
- ② 馬にぜ「に」をおわせると見れば、家とくにはなるゝ事あり、
- ③ 馬に鞍くらをくとミれば、相談事さうだんとゝのひておゝいによし、
- ④ 白しろき馬にのるとミれば、大吉なり、立身出世しっしんしゅつせすべし、
- ⑤ 馬むまつなぎたりとミれば、あきなひにて利を得るなり、
- ⑥ 馬うまをはしらするとミれば、相場さうばの事などハおゝいにそんあり、
- ⑦ 僧尼さうにきた来りてきやうをよむとミれば、やまひをうくるなり、
- ⑧ わか身僧みとなるとミれば、やまひしりぞきたつしやになるなり、
- ⑨ はなたかくなると見れば、凶けうなり、もめ事たえずおゝいにくらう多し、
- ⑩ にわとりあしたをつぐると見れば、大に吉事なり、かねてよりのぐわんもうじやうじゆすべし、
- ⑪ にわとりやねのうへへあがるとミれば、口ぜつ事あり、つゝしむべし、
- ⑫ からすむらがりとぶとミれば、さいわいさいわい来る吉相きつさうにしておゝいによし、
- ⑬ 朝あさ日出るをおがむとミれば、子そんさかへはんじやうすべし、
- ⑭ 神事しんじ・祭礼さいらいをミれば、かならずさいわい来るなり、
- ⑮ 神前しんぜんに幣ぬさをさゝぐると見れば、貴人きにんにもちひられ、げいのふにほまれ得るとなり、